

2020年度「ベスト・プレゼンテーション賞」選考結果

プログラム委員会

ベスト・プレゼンテーション賞は、研究大会における口頭発表の中から、優れた発表者を選び表彰するものです。

発表者は、口頭発表では、決められた時間の中で、研究の内容を正確に伝え、また、聞き手にわかりやすいよう細部まで行き届いた配慮をし、説明する必要があります。こうしたプレゼンテーションに対する意識を高めること、さらにその技能の向上を目指してこの賞を設けました。

2020年度は、学生・大学院生としての所属を明示した登壇発表者を対象に、研究内容とプレゼンテーション技法の両方の評価に基づき、プログラム委員の合議により、以下の通り授賞者を選出しました。

2020年度ベスト・プレゼンテーション賞受賞者

張心言君（慶應義塾大学大学院）

発表題目：日本の公共図書館における高齢者サービスの変遷及び課題：文献の検討から

文献を丁寧に収集し的確に分析していたこと、スライドを見やすく構成していたこと、落ち着いた聞き取りやすい発表であったことなど、研究内容およびプレゼンテーションの技法と態度において優れていたものと評価されました。